GMS GROUP

2027年3月期　第２四半期（中間期）決算補足資料

2026.11.11

© GMS GROUP All Rights Reserved.

INDEX

2027年3月期　第２四半期（中間期）決算補足資料

1　2027年3月期　第２四半期（中間期）業績の概要

2　2027年3月期　通期業績の見通し

3　2027年3月期　配当について





© GMS GROUP All Rights Reserved.

1

2027年3月期　第２四半期（中間期）業績の概要

© GMS GROUP All Rights Reserved.

1-1　2027年3月期　第２四半期（中間期）経営成績

単位：百万円	2025年度２Ｑ（※２社単純合算）	2026年度２Ｑ実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	36,157	38,068	+1,911	+5.3%
売上原価	27,861	28,985	+1,124	+4.0%
売上総利益	8,294	9,082	+788	+9.5%
管理販売費	9,194	9,523	+329	+3.6%
営業利益 （営業利益率）	▲899 ▲2.5%	▲440 ▲1.2%	+459	―
経常利益	▲143	▲405	△262	―
中間純利益	▲648	5,902	+6,550	―
１株当り中間純利益	▲34.27円	84.72円	+118.99円	―

POINT

売上高は、中国やインド向けの自動車・生活用品関連などアジア向けが増加し、前年同期比5.3%増の380億6千8百万円となった。
営業利益は長期化する円安の影響による部材価格高騰やエネルギーコストの上昇、生産量の減少に伴う固定費回収不足の影響により、▲4億4千万円、経常利益は▲4億5百万円となった。
親会社株主に帰属する中間純利益は、経営統合による負ののれん（65億9千6百万円）を計上したこと等により、59億2百万円となった。

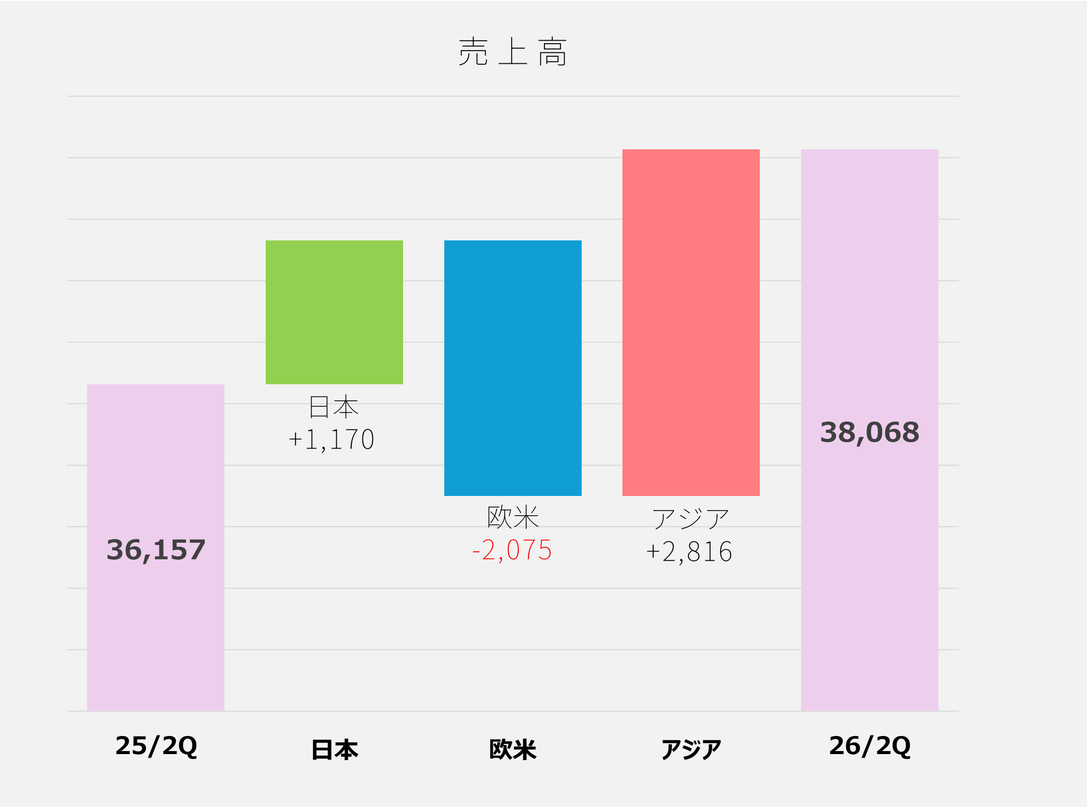
© GMS GROUP All Rights Reserved.

1- 2　売上高・営業利益の増減内訳

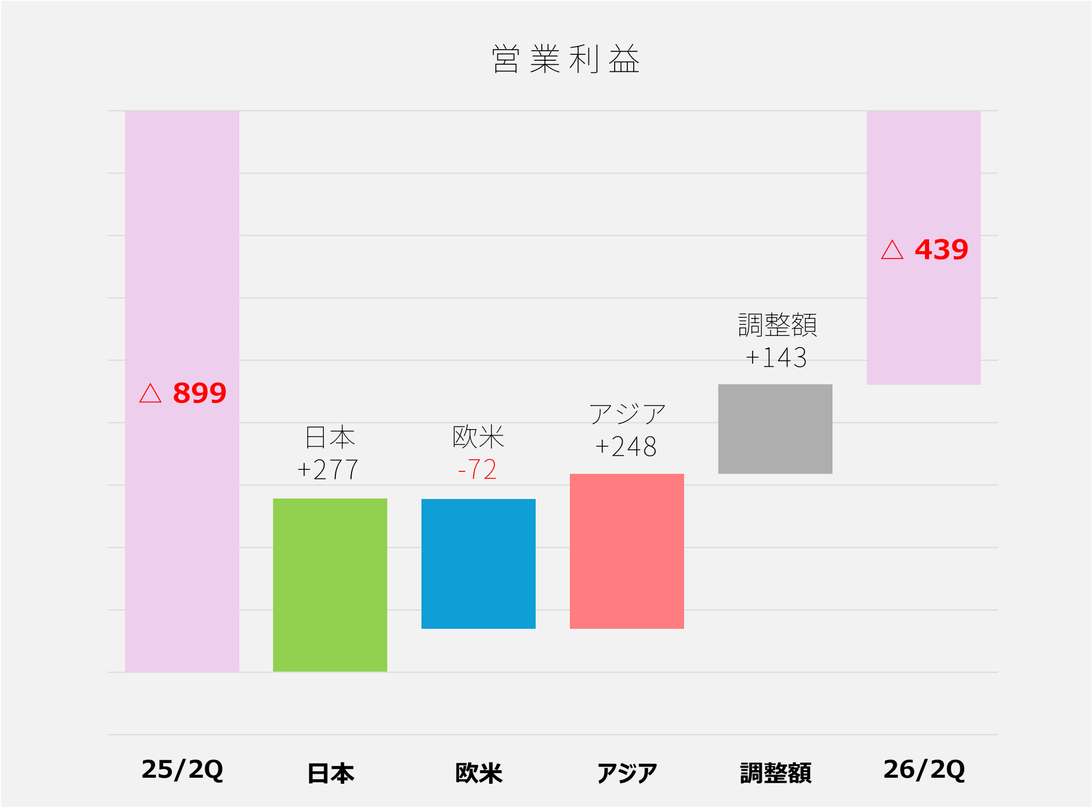
売上高は、欧米は減少したものの、アジアが大きく（28億1千万円）増加したことにより、19億1千1百万円増加

営業利益は、欧米は売上高の減少、日本は売上高が増加するも利益率の悪化により、赤字となった

(単位:百万円)



(単位:百万円)



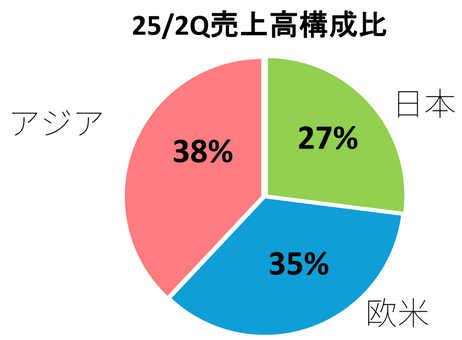
© GMS GROUP All Rights Reserved.

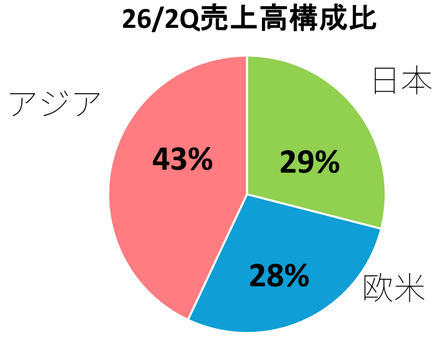
1-3 セグメント別（日本・欧米・アジア）業績の概要

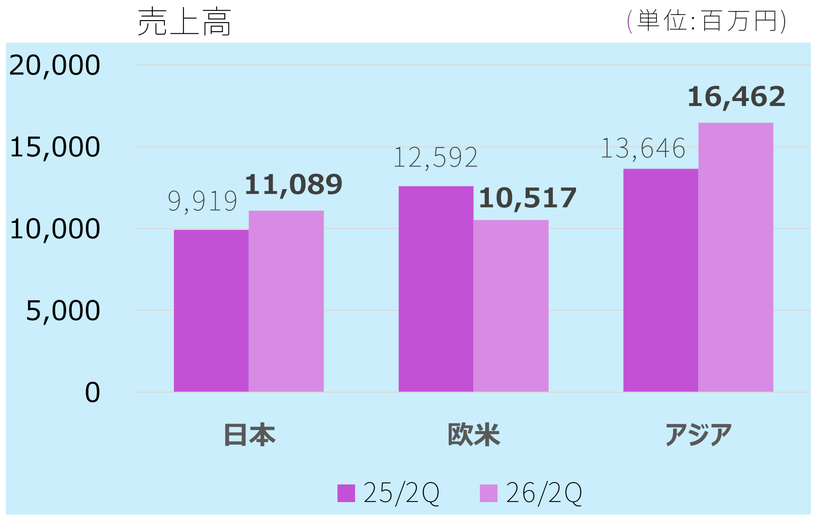
セグメント別売上高は、欧米は減少したものの、アジアが20％増の164億6千2百万円、日本が11％増の110億8千9百万円となった

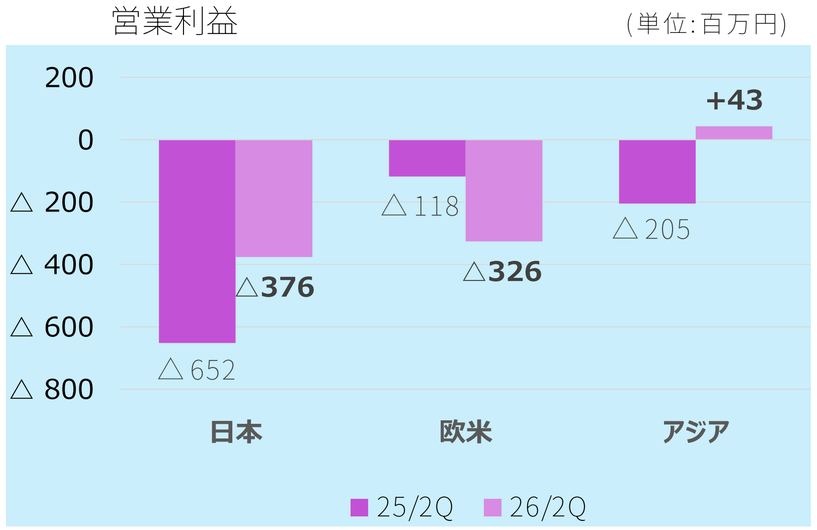
構成比は、日本29％、欧米28％ 、アジア43％となり日本・アジアが伸長

(単位：百万円)		25年度2Q (2社単純合算)	26年度2Q (実績)	前期比	
				増減額	増減比
日本	売上高	9,919	11,089	1,170	11.8%
	営業利益	△652	△376	277	-
	(%)	-6.6%	-3.4%	-1.3%	-
欧米	売上高	12,592	10,517	△2,075	-16.5%
	営業利益	△118	△326	△208	-
	(%)	-0.9%	-3.1%	-1.8%	-
アジア	売上高	13,646	16,462	2,816	20.6%
	営業利益	△205	43	248	-
	(%)	-1.5%	-0.3%	-0.5%	-
営業利益調整額		76	219	143	-







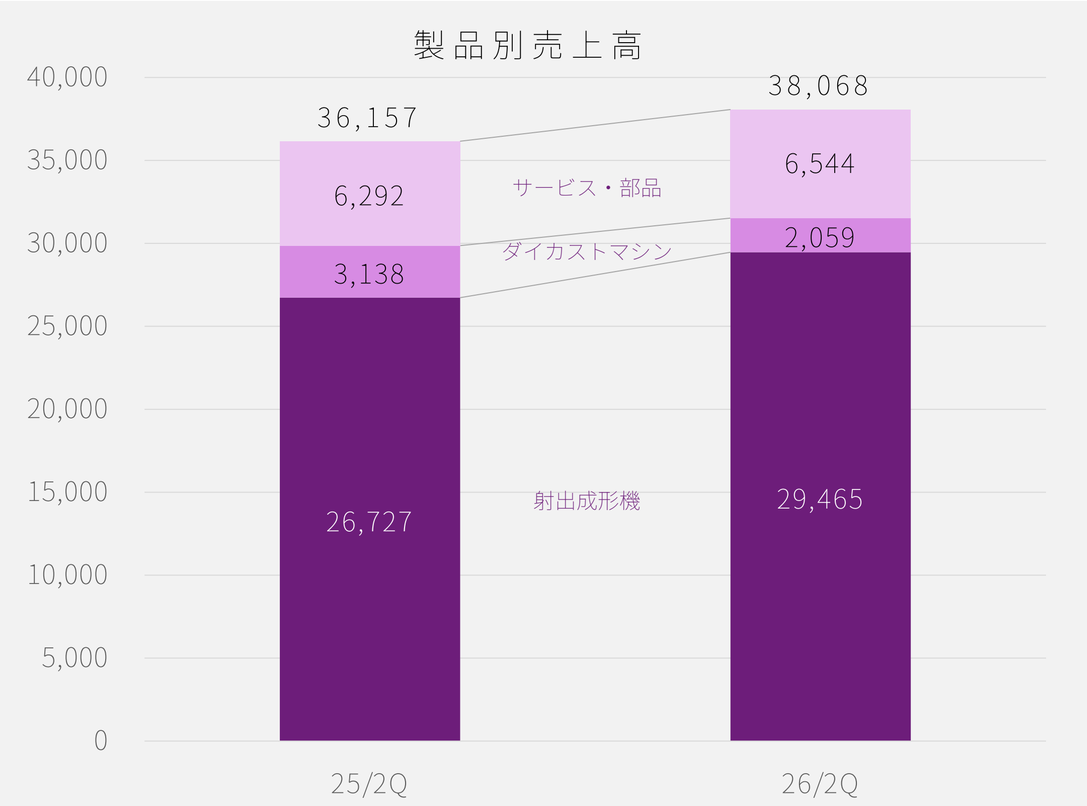


© GMS GROUP All Rights Reserved.

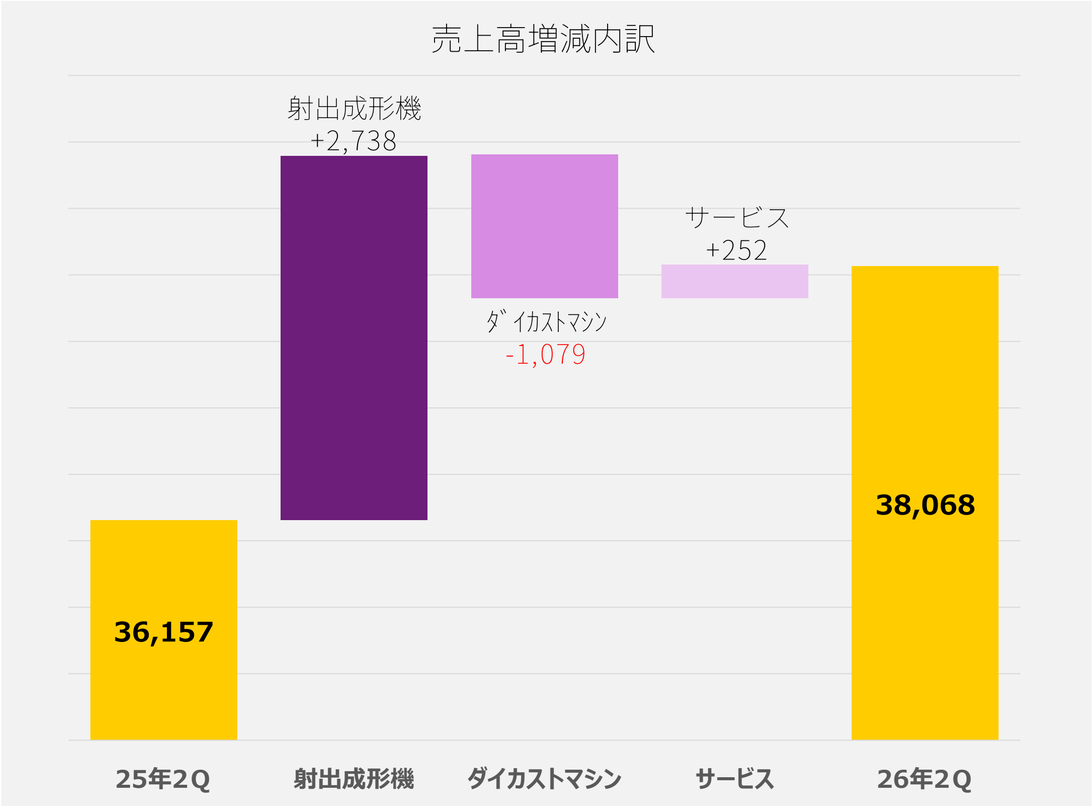
1-4　売上高（製品別　射出成形機（周辺機器・金型含む）、ダイカストマシン、サービス・部品）

射出成形機は、中国、インドの自動車や生活用品関連で増加し、294億6千5百万円の売上高（+27億3千8百万円）
ダイカストは、中国、ベトナムの自動車関連が減少し、20億5千9百万円の売上高（-10億7千9百万円）
サービス・部品は、中国、ベトナムなどで増加し、65億4千4百万円の売上高（+2億5千2百万円）

（単位:百万円）



（単位:百万円）

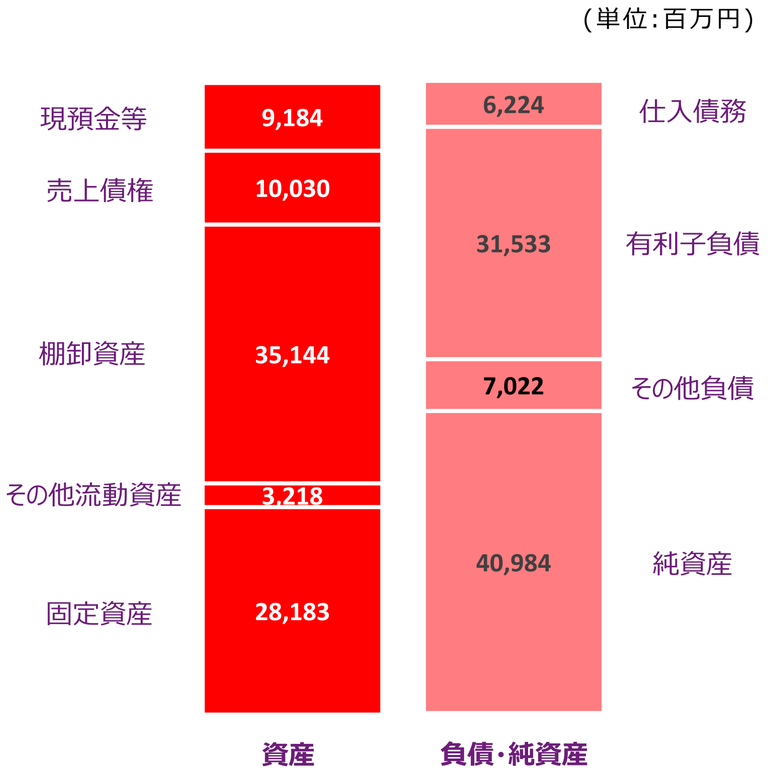


© GMS GROUP All Rights Reserved.

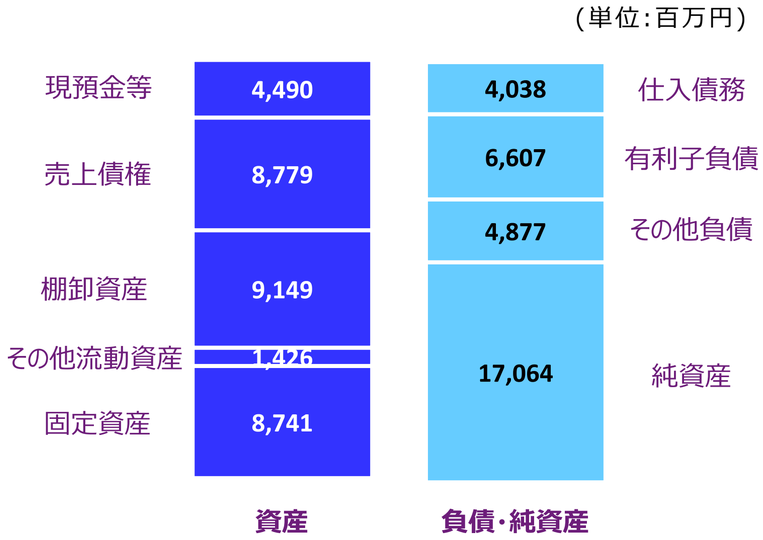
1-5 貸借対照表

固定資産における「負ののれん」は、**65**億**9**千**6**百万円
自己資本比率は**49.6**%となり、１株当たりの純資産は**881.77**円

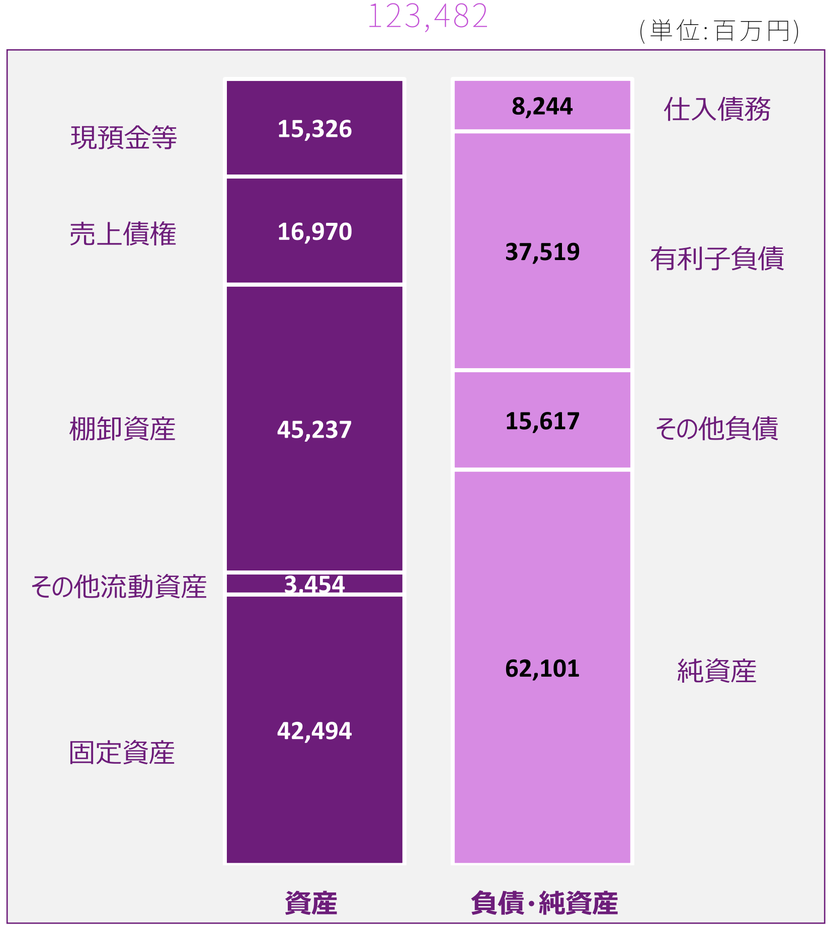
日精樹脂工業
85,763



TOYOイノベックス
32,588



GMSグループ
123,482



26/3末 BS

26/9末 BS

© GMS GROUP All Rights Reserved.

2

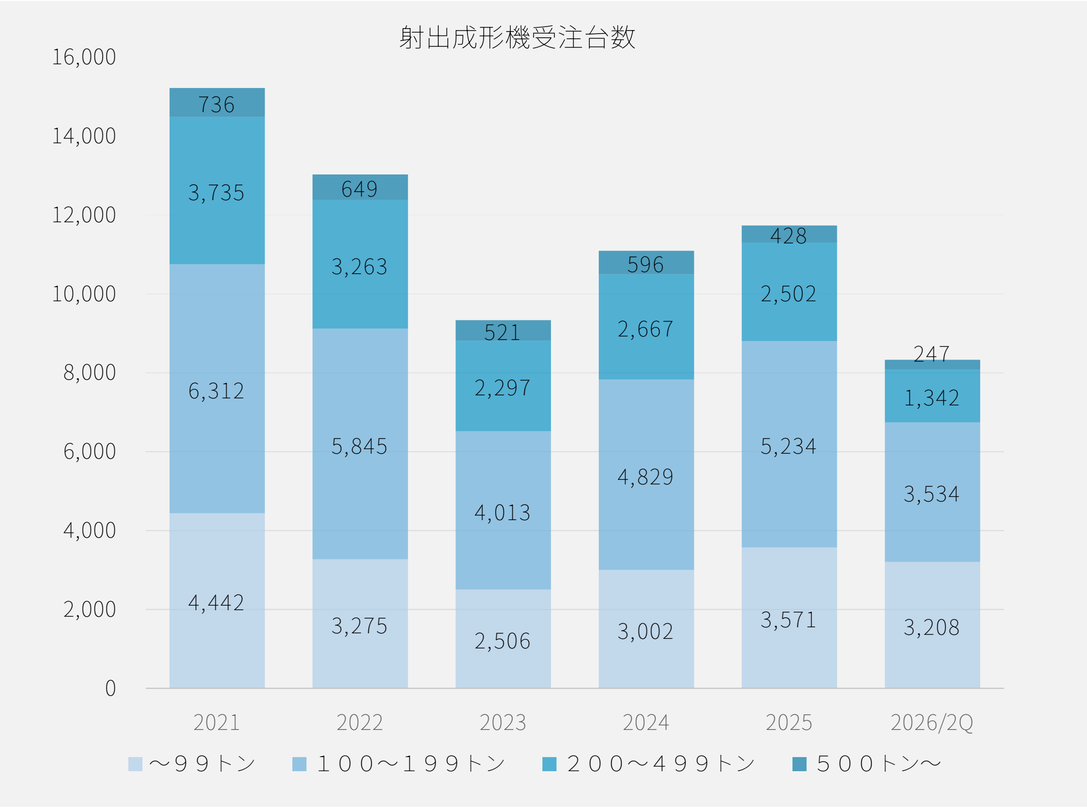
2027年３月期　通期業績見通し

© GMS GROUP All Rights Reserved.

2-1　事業環境の概要

射出成形機

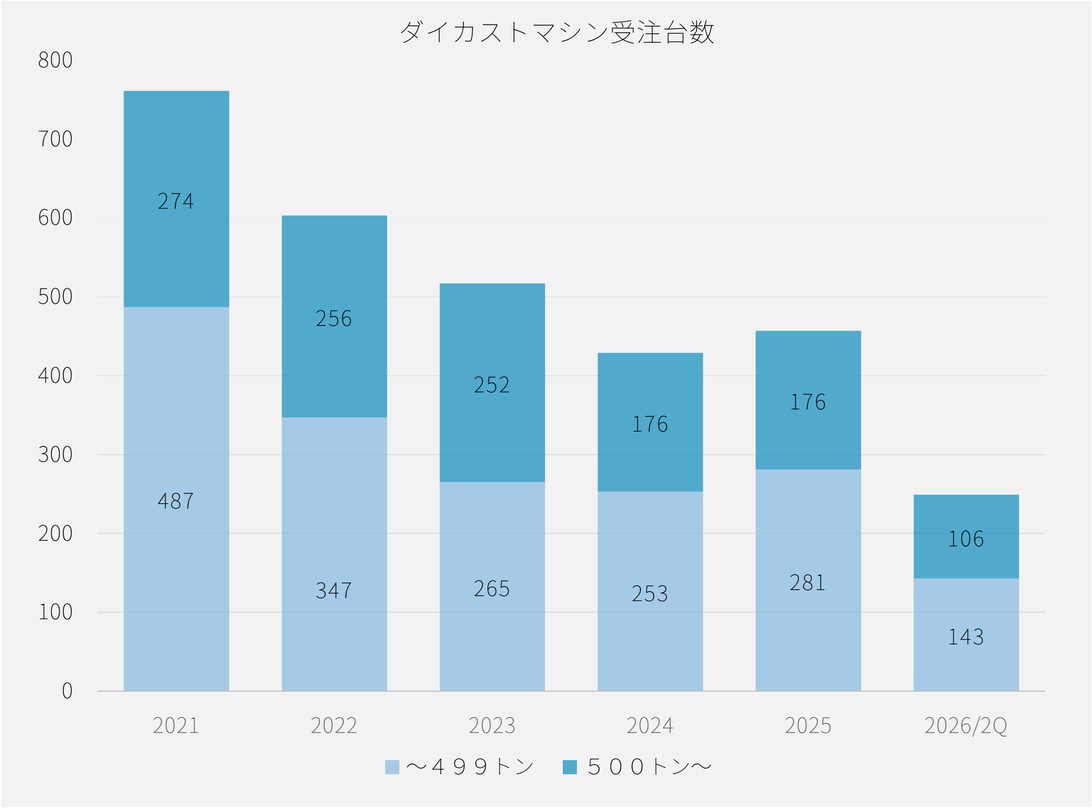
半導体やAIデータサーバ関連等向け、その他ドローンや車載カメラ向けなどの小型成形機の需要が引き続き増加。小型機需要は増加傾向にあるものの、中・大型機は横這いか微増となる見通し。



出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン

EV関連製品への二極化が進み、一部需要はあるもののウクライナ、中東での紛争長期化の影響が引き続き大きく、自動車関連での設備投資は世界的に回復に至っていない状況が続いているため、ダイカストマシンの需要も伸び悩んでいる。



出典：日本ダイカストマシン工業会

© GMS GROUP All Rights Reserved.

2-2　2027年３月期　通期業績見通し

単位：百万円	2025年度通期 (※2社単純合算)	2026年度通期	前　期　比	
			増減額	増減率
売　　上　　高	75,595	81,000	+5,405	+7.1%
日　　本	21,693	22,400	+707	+3.3%
欧　　米	24,371	26,400	+2,029	+8.3%
ア　ジ　ア	29,531	32,200	+2,669	+9.0%
営　業　利　益 （営業利益率）	▲1,407 *▲1.9%*	1,270 *1.6%*	+2,677 *+3.5%*	―

POINT

26年度の市場は、これまでの自動車に加え、半導体やAIデータサーバ関連等向けで射出成形機の需要が増加すると予想

27年3月期通期連結業績は、売上高は810億円（7.1%増）、営業利益は、生産量増効果等により、12億７千万円を見込む

© GMS GROUP All Rights Reserved.

3

2027年３月期　配当について

© GMS GROUP All Rights Reserved.

3-1　2027年３月期　配当について

中間配当については、１株当たり５円を実施
年間配当については、１株当たり10円を予定

（単位：円）

	中間配当	期末配当	年間配当
2027年3月期	5.00	5.00	10.00

配当方針について

- 当社は株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題の一つと位置づけており、業績の動向および財務体質等を総合的に勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としております。
- 2027年3月期の配当につきましては、１株当たり10円（中間配当5円、期末配当5円）を予定しております。

© GMS GROUP All Rights Reserved.

Thank you.

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後の経済環境やその他の様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

連絡先　ＧＭＳグループ株式会社
経営企画部
ＴＥＬ．（03）６２５７－５７７２

© GMS GROUP All Rights Reserved.